

10月2日常陽藝文センターにおいて、茨城大学・茨城産業会議・茨城県主催講演会を開催します。
貴重な講演を聴けるまたとない機会です。ぜひご参加ください。

講演内容

地球温暖化に関する国際的な動向と 経済活動の将来

講演会次第

14:00~

開 会

14:15~

IPCC第4次報告書が示す温暖化の将来予測

三村信男 茨城大学地球変動適応科学研究機関 機関長

15:00~

ポスト京都議定書の国際枠組みと、その政治経済影響

佐和隆光 立命館大学大学院政策科学研究科特別招聘教授 京都大学経済研究所特任教授

15:55~

質疑応答

16:00

閉 会

ドイツ・ハイリゲンダムサミットや安倍首相の「環境立国戦略」の提唱、中国の温暖化対策の発表など、地球温暖化対策の提案が相次いでいます。

洪水の激化やかつてない熱波の来襲、農業への深刻な影響など温暖化の影響が誰の目にも明らかになりつつある中で、国際的な対策の実施が一層強く進められることは間違いありません。

今後、CO₂の排出削減や省エネ、さらにこれに伴う産業構造の変化の動きは、地域における持続的な経済活動にとっても非常に大きな意味合いを持つと予想されます。

これを受け、茨城県の経済界や市民の方々を対象に、経営のあり方や新産業育成の課題を展望することを目的とする地球温暖化に関する国際的な動向と経済活動の将来をテーマにした講演会を開催します。

期 日：10月2日(火) 午後2時~4時

場 所：常陽藝文センター7階（水戸市三の丸旧県庁脇）

主 催：茨城大学、茨城産業会議、茨城県

後 援：水戸市、日立市、鹿嶋市、阿見町、東海村

対 象：県内の主な経済産業関係、各自治体、各大学の学生及び一般の方々 入場無料（約300人収容）

◆お問い合わせ◆ 茨城大学学術企画部研究協力地域連携課地域連携推進本部事務局

電 話 029-228-8605,8585 FAX 029-228-8586 e-mail:renkei@mx.ibaraki.ac.jp